

新製品案内

TODA Hyper One Camshaft for competition



B16/18 Hyper-1 spec camshaft

Primary Mid Secondary
作用角 / (リフト) / 中心角 作用角 / (リフト) / 中心角 作用角 / (リフト) / 中心角

B16A/18C Camshaft Spec H1 IN 267 (11.5) 95° / 297 (12.5) 102° / 267 (11.5) 95° 14111-B16-01H 定価 ¥46,000 (税抜)

B16A/18C Camshaft Spec H1 EX 267 (11.5) 95° / 292 (12.5) 102.5° / 267 (11.5) 95° 14121-B16-01H 定価 ¥46,000 (税抜)

販売経緯と特徴

戸田レーシングでは、サーキット走行用として各車種のカムシャフトを開発/製造/販売しております。ユーザー様の中には通常仕様とは異なる特性のカムシャフトを要望される方が少なからず存在します。本製品はサーキット走行でのタイムアタックに目的を絞り、設計/開発されたカムシャフトです。使用用途が限られるので、「アイドル時の安定性や低回転は特に必要ない」という方に向け性能特化したカムシャフトになります。

PreとSecカムロブが一般的に言われるハイカムシャフトとして設計されており、中速回転以上の領域をカバーします。Midカムロブと連携する事により、高いトルクを維持したまま中速から高速回転まで、これまでにない広いトルクバンドとパワーを発揮させ、レーシングVTECを体現させる事を可能としました。

※必ずIN/EXセットでご使用ください。

※4連スロットル装着を推奨します。

※純正ECU非対応となります(アイドリングしません)

※リフトが高いため、ハイカム作動時にリテーナーがステムシールに接触する恐れがあります。バルブガイド突き出し量を調整してご使用ください。



開発者コメント

本製品はサーキット走行でのタイムアタックを主目的として開発しました。アイドル安定性や低回転領域に敢えて囚われず、ヘアピンやシケインで回転数の下がる4000~6000rpm領域で強いトルクが発生する様に、ローカム側の作用角とカム中心角度を設定しています。トップスピードに影響する最高出力も重要ですが、車両の方向を変化させながら加速する領域と言える4000~6000rpmの回転トルク向上がNA車両ではタイム短縮に大きく貢献すると考えています。

また、本製品の仕様として、スポーツインジェクションKIT (4連スロットル) を併用してご使用頂ければ性能を引き出せます。シングルスロットルでは吸気干渉により低回転における安定性が想定以上に不安定になる事が予想されます。特にアイドル付近では吸気脈動を引き起こし、それが顕著となります。ECUの制御方法としてはスロットル制御を推奨致します。

スポーツインジェクションキットを使用する場合、ハイカムを5850rpmでONさせ、下がり側は5600rpmでoffさせる仕様が推奨セッティングとお考えください。